

シャントエコーってなに？

エコー（超音波診断装置）を用いてシャント（バスキュラーアクセス）の状態を評価する検査です。痛み無く、安全に評価することができます。

透析を安全に続ける為には、シャントの状態をよく観察する必要があります。早めに異常を見つけることで、穿刺時のトラブル防止につなげることができます。

当院では3ヶ月に1回ほど、臨床工学技士がシャントのエコーを実施し、シャント血流の流れ・血管の硬さや狭窄を見ています。エコーの検査結果は医師に伝え、シャントの状態を評価しています。以下が検査結果の推奨値です。

RI(血管抵抗指数)

- ・ 0.6 以上 : シャント血管が硬い(狭窄等の疑い)
- ・ 0.6 未満 : 異常なし

VF(上腕動脈血流量)

- ・ 500mL/min 未満 : 血流量が少ない(狭窄等の疑い)
- ・ 500mL/min 以上 : 異常なし

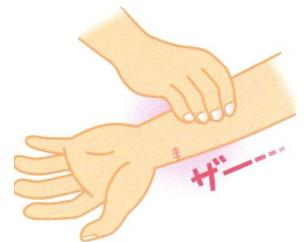
★検査で異常が見つかったら？

医師へ報告し、

- ・ シャント PTA(血管拡張術) ・ 穿刺部位の変更 ・ 経過観察

を検討します。シャントを長持ちさせるためにも、**シャント音を**

聞く、スリルを確認する等のシャント管理を常日頃から行いましょう！！



臨床工学技士(血液浄化担当)のご紹介

血液浄化センターで勤務している臨床工学技士の業務内容を簡単にご紹介します。



機械の点検

血液浄化装置の定期点検や消耗品交換を行ったり、透析に使用する水の水質管理を行っています。

シャントエコー

左側に記載の RI、FV 等のエコー結果を医師に伝え、シャントの状態を定期的に評価しています。



穿 刺



針の角度や深さを調整する事で、患者さんの穿刺時の痛みを軽減できるよう工夫しています。目視での穿刺が困難な場合はエコーを用いて、血管の状態をよく観察しながら穿刺を行います。

採血結果評価

採血結果 (BUN、IP、K など) を定期的に確認して、その結果をもとに透析時間や血流量、ダイアライザの種類を見直し、今の治療が患者さんにあっているか評価しています。



↑ 採血結果を確認しています。

フットチェック



看護師と同様に足の病気を予防・早期発見するため、月 1 回の定期的な足の観察を行っています。

患者さん一人ひとりにとって、より良い医療を提供できるよう日々努めています。

気になることや不安なことがあれば、どうぞ気軽に声がけください！！